放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　6年　4月　30日　　　　事業所名　　ベーテルの夢

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	1		・活動目的に応じ1・2階各支援室を区別し使用するも高学年の活動範囲が狭い ・戸外活動を積極的に取り入れる
	2	職員の配置数は適切である	5		1		低・高学年の配置や職員を検討した方が良いのではないか
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2		4		・階段・玄関・トイレ等段差有りバリアフリー化対応外である ・手摺り設置有 ・現在車椅子等バリアフリー化対象児なし
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1			毎日のミーティングにて子供達の前日・近況等の情報共有
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6				保護者からの意見等など随時回覧し職員で共有している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2			ホームページやインスタグラムなどで前年度の自己評価を公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	1		今後予定している
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1			放課後連研修に参加している 研修等の情報を得、スタッフで必要な知識や経験の習得に励んでいる
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				送迎時等保護者様との情報共有を密に行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1			定期的なアセスメントシートを使い見直し、状況把握をしている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				子供達の特性や情緒の波など細かな変化に応じ 行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6				５領域に合わせた活動を個別支援計画基づき行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6				ホースセラピー・ドックセラピー等休日プログラムも充実
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6				・不登校児の午前利用等で通所及び活動に参加するなど他児との関りがもてている ・ウィークリー（週間）作成
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6				朝のミーティング実施し始業前の申し送りに、法人理念の確認、当日の役割、利用児童の確認と支援内容の確認を行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有している	6				終了後ミーティング実施し、帰宅送迎後のミーティングを持ち引継ぎ改善点など話す
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				リタリコアプリにて記録。個別支援計画書、保護者への連絡事項などに連動した記録内容になるように留意している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				スタッフミーティングにおいて共有された情報を加味しながら、児童発達管理責任者によって計画の見直しを行う
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6				報酬改定の変更等などで新たに追加された内容も併せて支援している

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				サービス担当者会議には児童発達管理責任者又は管理者が出席し、必要に応じて児童指導員が出席するようにしている
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6				保護者及び学校側と連絡確認実施
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5	1		現在医療ケア児受入無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2			移行支援の際には児童発達管理責任者又は管理者が出席し、情報共有、提供している
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3			継続的な支援によって利用児童が地域に馴染んだ生活を送れるように、側面からのサポートを意識し情報の提供と継続的な関係性の維持に努める
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1			強度行動障害研修など参加 放課後連等、すなばの会等の神経発達症の学びを深め、助言等を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6				地域自治会や公園等の利用にて地域の子供達と遊ぶ機会が多い
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	4	1		当該サービスの客観性を保持するために、児童発達支援管理責任者、児童指導員等を通して参加し、可能な限り地域に根差したサービスの在り方と利用児童本位のサービスの構築を目指しし参加予定
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				引継ぎや電話、メール等で状況の共通理解を図っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	2	3	1		・ペアレント・トレーニング等の紹介 今後、医療等の専門家と連携しながら、利用児童の必要に応じて取り組んでいきたい
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			別途費用徴収や報酬改定内容に関しては具体的な金額等記載した便りを別途配布している	契約時や毎月発行のベーテル通信等において、当事業所の基本的方針や支援内容、利用に係る費用についてご連絡している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				家庭と連携している 帰りの送迎時、引継ぎ、モニタリングなどを通して行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6			事業所の台風災害等以降ベーテルcafé等父母の会開催が中断されている、再開予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			相談内容について、職員で共有、内容を回覧している	情報伝達の方法や配慮すべき点について情報の収集に努め、必要な対応をとっていきたいと思う
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			日々の活動の様子等、インスタグラムにて発信している	ベーテル通信や行事前のお手紙配布
	35	個人情報に十分注意している	6			事前に写真等を初めてとする個人情報について配慮し、保護者の確認、承諾を得ている	すべてのスタッフが個人情報保護に関する学び、この点について十分な理解をし、利用児童とご家庭の安全安心に努める
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				情報伝達の方法や配慮すべき点について情報の収集に努め、必要な対応をとっていきたいと思っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	1		地域の行事に参加し、ベーテル主催のイベントを企画し積極的に開催できるよう取り組んでいく

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		BCPの作成をし災害時に迅速な対応とスムーズな事業継続を行えるようにした	各種マニュアルについても策定し、スタッフと確認しながら保護者へも周知している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		年間行事に取り組み日頃から避難訓練を実施	年２回（災害・火災）、その他（不審者訓練・地震・津波）
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			職員会議などで常に話し合い気づきを大事にしている	虐待防止に関する研修について、特に意識しながら研修に参加し、知り得た情報や伝達研修・所内の研修を通してスタッフ内で共有している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			強度行動障害支援者研修に受講しスキルアップしている	身体拘束0を基本とし、拘束しないケアの在り方についてスタッフ全員で取り組み、法人の他サービスから得た考え方やノウハウを現場に活かし、保護者との十分なコミュケーションを通して計画していく 強度行動障害支援者を配置している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6				ご家庭より提出される情報に合わせ、必要に応じて医師の指示書を提出してもらうようにしていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		気づいたらすぐに記入できる様に共有スペースに配置している	・事例発生時に直ぐに記入出来る様ヒヤリハット記録票を準備設置 ・ミーティング等で共有